

認定NPO法人生き生きネットワーク

令和4年度事業報告書・決算報告書

◇令和4年度事業報告

はじめに「令和4年度事業報告にあたり	P1
1. 事業部門別活動報告	P2
2. 人材育成・能力向上支援	P22
3. 理事会・総会、安全衛生委員会	P25
4. 主催行事、情報発信活動、SDGs 参加	P30
5. 会員数・利用者数	P31

◇令和4年度決算報告

1. 活動計算書	P32
2. 貸借対照表	P34
3. 財産目録	P36
4. 財務諸表の注記	P38
5. 監査報告書	P39

資料…令和4年度部門別収入実績



令和4年度事業報告にあたり

代表理事 杉本 彰子

令和4年度も新型コロナウイルスは活き生きネットワークの活動に多くの影響を与えました。29名のスタッフが新型コロナウイルスに感染しました。その為営業を中止せざるを得ない日もありました。一人でも陽性者が出ると、関わったスタッフはPCR検査センターで検査をした為、スタッフが足りなくなる日もありました。その為利用を控えていただくこともありました。

くすくす隣地の土地を購入しました。この敷地購入に関しては、とても迷いましたが、理事会、連絡調整会議、研修会などで意見をはかり、最終的にくすくすの隣地ということで土地購入となりました。

1月に訪問看護を利用されていた11才の少年が他界されました。活き生きの看護師が学校の授業に付き添ったり、キャンプに同行したり、学校行事にも参加しました。

3月には、高校生の時からサービスを利用されていた24才の青年も他界されました。活き生きネットワークはたくさんの方の支援で成り立っています。別れがあっても、こちらが励まされることもあります。「活き生きさんを利用してよかった」と言われ、私たちにとっても出会いと感動をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

令和4年度の収支は赤字決算の予定でしたが、訪問看護ステーションの事務所、もぐもぐキッチンの拠点となっている建物の家主さんが、活き生きネットワークに土地と建物を譲渡してくださいました。本当にありがたいことです。

令和4年度は活き生きネットワークの集大成の分岐点となる大事な年度となりました。くすくす隣地の土地の購入が私たちの活動にどんな光をあててくれるか。少し重い荷物を背負ったことで進む道を変えることにもなるかもしれません。2024年の介護保険改正の内容によっては方向性を変えることも考えられます。令和4年度は活動が始まって40周年の年です。今改めて思うことは、私たちの理念が変わらなければどんなに方向性を変えてもいいと思います。

にこにこが新しい土地に移り、残った場所をどう使うか、譲渡して下さった大切な建物など託されたこともあります。活き生きネットワークの活動が本当に多くの方々に支えられ、また期待されていることを改めて確信した年度となりました。

1. 事業部門別活動報告

(1) 介護保険指定事業

①居宅介護支援事業所（ケアマネジャー） 契約者 68 名（要介護 40 名、要支援 28 名）

超高齢社会の中でも、高齢者さんが自分らしく生き活きと生活できるように、地域社会全体で支えていけるよう、広い視野を持って支援させていただきます。

令和4年度は、新規に15名の方が契約され、利用終了の方が14人でした。初めて新型コロナウイルス罹患により亡くなられた方がいらっしゃいました。

聴覚障がい、糖尿病の持病を持つSさんの事例では、疾患問題や日常生活の問題の他、経済的な問題、住居問題など多岐にわたる課題がありました。訪問看護や訪問介護の介護保険以外にも、生活保護、住宅確保要配慮者居住支援というサービスも利用し、多職種連携でようやく安定されて過ごすことができている。この他にも利用者さん・ご家族が抱える様々な課題により、介護保険制度を超えた業務が多様化する事例が多い年でした。

6月から11月まで受講したケアマネ更新研修でも、介護保険制度以外の生活保護や障がい者福祉、権利擁護などの社会保障制度についても改めて学びました。必要な社会資源を活用できるよう幅広い知識を身につけなければならないことを思い知り、研修会や勉強会への参加も積極的に行いました。また、地域ケア会議、「ずっと自宅で」のミーティング等の参加により、地域交流の機会も増え、民生委員さんからの相談も多くありました。

11月には、安東小学校4年生の総合学習の授業で、「寄り添う人が大事にしていることって何だろう」というテーマでケアマネジャーから話を聞かせて欲しいという依頼をいただきました。寸劇やクイズを交えながら認知症を患う高齢者さんへの接し方を知っていただき、「大切にしていること」のお話しをさせていただきました。子ども達はとても活発に沢山の質問をしてくれて、コロナ禍での貴重な交流で私たちも元気をもらうことができました。

1月には静岡市社会福祉協議会主催の「介護者を支えるボランティア講座」の講師依頼を受けさせていただきました。初めての経験でしたが、微力でも地域福祉のお手伝いをさせていただきます良い経験となりました。

コロナ禍で開催が自粛されていた研修や会議、地域交流の機会も増え、顔の見える関係作りをまた構築し始めた年度となりました。

<居宅介護支援>		令和3年	令和4年
ケアプラン作成(件)	要介護	439	473
	要支援	336	299
	計	775	772
相談件数		17	23
認定調査件数		45	36



モニタリング



相談

②訪問介護事業所

契約者 25 名（要介護 8 名、要支援 17 名）

真心と思いやりを持ったサービスで、皆さまが「笑顔で自分らしく」暮らしていけるようにお手伝いさせていただきます。

令和 4 年度は、新規契約の方が 9 人、利用終了の方が 7 人でした。

視覚障がい者の方が 5 人となり、同行援護のサービスの前に出掛ける支度や買い物の整理整頓を一緒に行う等の支援をさせていただいています。ヘルパーと一緒にいることで、安全に外出ができ、帰宅後も買った物の整理や賞味期限の確認などもできるようになりました。同行援護のみの利用では室内に入ることができなかつた為、訪問介護を導入することによって室内での支援ができるようになり、皆さん安心して過ごされています。

デイサービスやリハビリ、ご友人との関わりや趣味等を徐々に再開する方が増えました。今まで我慢していた方が多く、久しぶりのお友達との関わりや旅行を楽しまれ、コロナ禍前の日常を取り戻しつつあります。

サービス提供責任者の変更もありました。経験者のスタッフに協力してもらいながら勉強を重ねました。

1 月から 3 月にかけて行われた初任者研修より、受講生一人がヘルパーとして登録してくれました。視覚障がいの利用者さんの訪問では、視覚障がいの方と接したことがない為、関わり方など戸惑うこともあったようですが、現在では利用者さんからの評判も良く、戦力になってくれています。

近年要支援の利用者さんが多くなっています。支援を受けてできることに着目し、これからも利用者さんの自立した生活を支えていけるよう連携をとっていきたいと思います。

<訪問介護>		令和 3 年	令和 4 年
要介護 (人)		18	15
要支援 (人)		15	17
利用者数 (人)		33	32
要介護 (件)		2,097	1,193
要支援 (件)		1,239	1,281
件数 (件)		3,336	2,474



一緒に冷蔵庫の整理をしています



入浴介助後階段を上るのを見守ります

③地域密着型通所介護・通所介護相当サービス「うめの木」

(喜楽庭 定員 15 名、契約者 11 名)

利用者さんが持っている力を発揮でき、機能の維持向上が出来るように支援します。ひとりひとりが主役になれる活動をしていきます。

コロナ禍でしたが、エンジェル・のびっこの子ども達と一緒に交流ができました。朝の会で喜楽庭の歌を一緒に歌ったり、お散歩に出掛けたりと、利用者さんも子ども達の笑顔や笑い声を聞くと、微笑ましく嬉しそうにされていました。散歩では車いすで移動し、公園に着いてからは車いすを降り、ご自分の足で無理なく歩いていただき下肢筋力の低下を防いでいます。

天気の悪い日には、室内で季節の工作やレクリエーションを行いました。様々な季節に合った壁面を折り紙で製作し、壁に飾りました。ご自身で作った物ができあがり、飾られるととても喜ばれていました。レクリエーションでは、勝敗が付くものは負けるととても悔しそうな表情になります。

おやつも利用者さんと一緒にどら焼きやホットケーキなどを作りました。利用者さんには混ぜる作業を行っていただきました。慣れた手つきで混ぜて下さいました。自分で手作りしたおやつはまた一段と美味しく感じると言ってくださいました。

2 月には喜楽庭でも利用者さん、スタッフにコロナが蔓延し、7 日間閉鎖することになりました。

3 月にはのびっこハウスの卒園式に参加しました。利用者さんに開会の言葉をお願いし、一緒に可愛い子どもたちにエールを送りました。

<地域密着型通所介護>	令和 3 年	令和 4 年
利用者数 (人)	8	11
件数 (件)	1,348	1,280



お抹茶会の様子



子ども達と一緒に散歩



ホットケーキ作り



コンサート楽しみました



ドキドキはらはらの風船バレー



てるてる坊主作り



のびっこ卒園式で

④訪問看護ステーション事業所「あんどろ」

(契約者 19 名)

※介護保険指定事業所、医療保険指定事業所

子供から高齢者さんまで一人一人が安心して在宅生活が送れるように主治医の指示のもと訪問し支援しています。

令和 4 年度は 4 人の方の新規契約があり、新規利用者のうち、1 人が医療保険、3 人が介護保険でした。4 人の方が契約終了となりました。

静岡市難病患者等介護家族リフレッシュ事業は就学支援・在宅支援ともに利用希望があり支援に入りました。前年度よりも利用者さんの表情や反応を読み取ることができるようになり、利用者さんの意向に沿った支援が出来ていたかと思えます。就学支援では、保護者の付き添いがありましたが、保護者と利用者さんとが離れる時間が前年度よりも多くとれました。保護者の休息の時間やご兄弟の用事を済ませることができるとともに、ご本人の自立にもつながったと思えます。目標を新たに次年度を迎えようと思っていたところでしたが、病状悪化により 1 月にご逝去されました。亡くなる 1 か月前は浮腫みが強く呼吸も大変そうな日が多かったのですが、学校に行きたい気持ちが強かったので大好きな授業を 1 時間だけ出席し、最期まで学校に行くことができました。2 年間の支援となりましたが、利用者さんとともに様々な体験をさせていただきました。

4 年間訪問している利用者さんが 100 歳を迎えられました。体調不良で点滴をすることもありましたが、毎週訪問し制作活動や頭の体操を行い、物忘れもなく誕生日を迎えることができました。ご家族とともにお祝いをし、次の 101 歳のお誕生日会もやりましょうねとお話ししました。

利用者さんの中には老々介護で加齢とともに支援内容が増え、一人の方に対する訪問回数が増えました。保清できないためご夫婦の入浴介助や薬の管理、リハビリ、転倒時の訪問など、様々なことで支援の依頼がありました。毎回の支援で信頼関係が築けていると感じました。

<訪問看護>		令和 3 年	令和 4 年
介護保険	利用者数 (人)	12	14
	件数 (件)	663	756
医療保険	利用者数 (人)	9	9
	件数 (件)	412	296
リフレッシュ事業	利用者数 (人)	1	1
	件数 (件)	32	37



書道、大好き！



祝！100 歳！！



お座りが上手になりました！

(2) 総合支援法指定事業

①居宅介護、重度訪問介護、同行援護

<居宅介護>

(契約者 29 名)

知的障がい・身体障がい・難病の方が利用されています。居宅介護のなかに身体介護と家事援助があります。身体介護は入浴、排せつ、食事の介助など直接介助する支援で、家事援助は掃除、洗濯、調理などの支援になります。

令和 4 年度は、新規の契約が 6 人、終了の方は 2 人でした。

週 2 回訪問看護師と一緒に入浴介助の支援に入っていた男性ヘルパーが体調不良となり、お母様と相談してして 1 ヶ月お休みをいただきました。その 1 ヶ月は訪看あんどうと他事業所の看護師さんをお願いし、対応していただきました。その後も長期療養が続いているため、ヘルパーを交代し、引き続き訪看あんどうにも協力してもらっています。

昼夜問わず緊急依頼がある身体障がいのあるご夫婦は、緊急電話がありヘルパー 2 人体制で対応しました。

<居宅介護>	令和 3 年	令和 4 年
利用者数 (人)	18	20
件数 (件)	1,784	1,816



トイレ掃除



健康チェック、代読、



室内清掃

<重度訪問介護>

(契約者 1 名)

重度の肢体不自由者であって常時介護を有する障がい者に、居宅において入浴、排せつ及び食事等の介護を行います。

契約者は 20 代の男性 1 人で、週 1 回の絵画制作の補助 (女性ヘルパー) と週 1 回の夕方の入浴介助 (男性ヘルパー対応)、週 2 回の朝の食事・歯みがき・更衣・服薬介助 (女性ヘルパー対応) の支援を行っていました。しかし 6 月に入浴介助の男性ヘルパーが体調不良となり入院。そのヘルパーは体格も良く、1 人で介助出来ていましたが、他のヘルパーでは 2 人対応でないと危険があった為、7 月から男性ヘルパー 2 人で支援に入りました。その後 9 月からは他の事業所が入ることになりました。そして、絵画制作の補助の女性ヘルパーも年末に体調不良になり、交代しました。まだ前のヘルパーさんのように利用者さんとの阿吽の呼吸で絵の具の出し入れや筆を渡したり洗ったりすることは難しいようですが、少しずつコミュニケーションがとれるように頑張っています。

<重度訪問介護>	令和3年	令和4年
利用者数(人)	1	1
件数(件)	153	161



最近の絵画



絵画制作の様子

<同行援護>

(契約者 24 名)

移動に著しい困難を有する視覚障がいのある方の外出・代筆・代読の支援をします。

令和4年度は、新規の契約が7人で24人となりました。この新規の方々は網膜色素変性症と言う病名で、進行性で最後は何も見えなくなってしまう方もいらっしゃる病気です。今までは1人で外出も出来ていた方が、徐々に見えづらくなり、同行援護のサービスを利用したいと相談支援事業所から紹介いただき、契約に至った方がほとんどでした。この中のお一人は高次脳機能障がいも患っている為、車椅子での対応です。

色々とヘルパーとの問題があったWさんですが、ご本人から「生き生きネットワークとまったく関わりがなくなるのは寂しいので、少しの時間(3.5時間/月)だけ契約を残しました。オーバーしたら自費で請求してください」とお話がありましたが、コンサートに出掛けたいとの依頼があった時は本事業対応ではなく、他事業所が利用していない残っている時間をその都度いきいきに増やしての契約時間の手続きをして利用しました。

<同行援護>	令和3年	令和4年
利用者数(人)	21	25
件数(件)	1,021	1,092



支援中は事故のないよう、細かく声掛けをして外出します

②生活介護(喜楽園)

(喜楽庭 定員 10 名、契約者 15 名)

就労が困難な 18 才以上で区分 3 以上の方を対象とした通所施設です。少人数で家庭的な雰囲気の中で、その方に合ったいろいろな活動を提供していきます。

令和 4 年度は引き続きコロナ対策をしつつ、制約がある中で工夫して活動を行いました。しかし 8 月には喜楽園の中でコロナの感染が広がってしまい、そのうち 1 人は高熱、呼吸困難になる等、重症化してしまいました。年始には 1 人の利用者さんから 3 人の職員が感染しました。

利用者さんの変化としては、最年長の M さんが家庭の事情でグループホームに緊急入所されました。また週 5 日利用されていた T さんは、週 3 回 B 型事業所に移行しました。そして新規で男性 1 人、女性 1 人の契約がありました。皆さん環境の変化に適応するのが難しい為、情緒不安定になり、暴れたり大声を出したり、泣き出すこともありました。利用者さんの環境の変化が多い一年となり、とにかく喜楽園では安心して過ごしていただけるように、それぞれの気持ちに寄り添って支援しました。

年齢や体力面を考慮して、高齢の方は、散歩時、車椅子を使用して公園の中だけ歩き、休憩も入れて、無理なく楽しみながら運動機能の維持向上に努めました。年齢が若く元気な方は、片道 30 分以上の長距離コースで、交通ルールやマナーを守っていただけるように配慮しました。日頃から飛び跳ね、突発的に走ってしまう方は、目的地で発散するように声かけをし、道中は皆さんと同じペースを保つよう支援しました。葉っぱちぎりが好きな方はゴミ袋を持参し、ちぎった葉を入れていくように工夫しました。

個別に手厚く対応したことにより、皆さんは喜楽園では安定し、活動に参加することができました。またご本人のことだけでなく、その背景にあるご家庭の事情も配慮し支援していくことが大切だと痛感した一年でした。

<生活介護>	令和 3 年	令和 4 年
利用者数 (人)	16	17
件数 (件)	2, 179	2, 264



室内活動ではおやつ作りや個人作品の制作をしました



個々に合わせた散歩コースで健康維持向上!



(3) 地域支援事業

①移動支援（地域生活支援）

(契約者 62名)

知的障がい、身体障がいの方の外出支援をしています。利用者が住んでいる地域での生活を豊かにするために、映画鑑賞やボーリングなどの余暇活動、市役所や銀行の手続き、買い物、理美容院の利用など、生活に必要不可欠な外出支援を行っています。

令和4年度は、新規の契約が3人、終了の方は5人でした。終了の理由は、入所が1人、申請をしなかった方が1人、利用がなくなった方が2人、お亡くなりになった方1人でした。

移動支援は外出が主な支援となっています。令和4年度も新型コロナと共生した1年でした。毎月利用されている方々はどうしてもご自宅にずっといることが難しく、ストレスになって精神が不安定になってしまう利用者さんたちです。ヘルパーは密を避け、人の少ない場所を選んで散歩をしたり、外食は公園のベンチやお店の外のテラス席を利用したり、手洗いうがいの回数を多く行い、そのあとに手指消毒をしたりと感染症予防を行ってきました。

通常なら年末年始に外出する機会が増えるのですが、新型コロナの陽性者が少しずつ増えてきた為、利用は少なめでした。

<移動支援>	令和3年	令和4年
利用者数(人)	38	34
件数(件)	583	534



ご本人の行きたいところへ行けることで社会との繋がりを維持します

(4) 児童福祉法

①放課後等デイサービス・児童発達支援（知的障がい児対応）わくわく

（くすくす 定員 10 名、契約者 24 名：児童発達 1 名、放デイ 23 名）

遊びや活動を通して 1 人 1 人の個性を生かし、笑顔あふれる療育を目指しています。

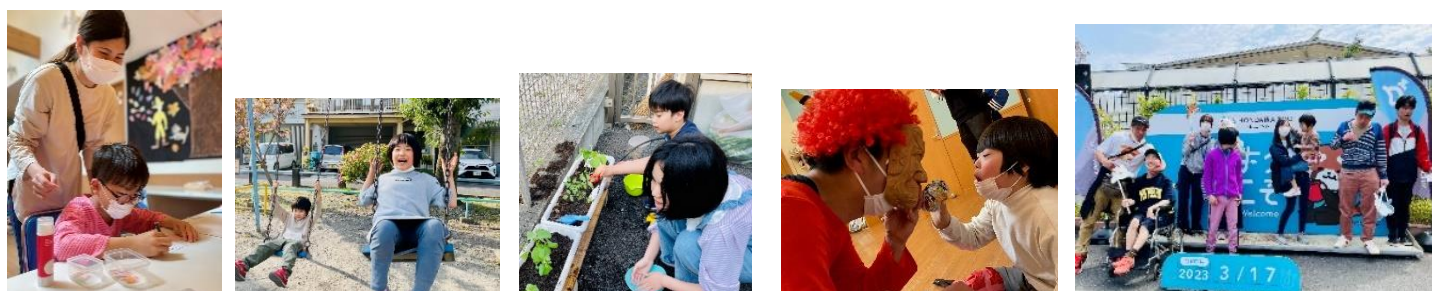
令和 4 年度は児童発達支援事業所のびっこハウスからの進級組が 3 人、放課後等デイサービスわくわくへ移行し契約を行いました。また児童発達支援管理責任者の変更もありましたが、事務作業等の引継ぎを行いながら漏れがないように進めていきました。

コロナ禍のため、手洗い、マスク、消毒、食事等で利用者間の間隔を離す等対策をとってきました。8 月に利用者さんとスタッフも新型コロナに罹患し営業を休止する日もありました。そのため毎日の活動記録やマスクの着用の有無、検温等を細かく記録し、陽性者が出た際には活動記録を確認するなどして振り返りができました。他事業所での感染状況も確認し、陽性者が出た時には接触状況を確認しながら利用を自粛していただく日もあり、昨年度はそういった影響もあり件数は減少しました。それでもコロナの状況を見ながら、以前のようにクッキング体験やミニ運動会、ハロウィン、クリスマス会などの行事も行いました。感染対策を考えながら少人数グループに分けたり、本人が触れるものを限定しながら「みんなですると楽しい」という感覚を共有したりと今までとは違うやり方で異年齢児同士関わって過ごすことができました。

3 月卒業の子ども達と日本平動物園へ卒業遠足に出掛けました。普段と違う活動に子ども達も笑顔いっぱい様々動物たちをじっくりと見て回ったりしました。保護者の方からも「楽しい思い出をありがとうございました」と喜びの言葉をいただきました。

事故、苦情、ヒヤリハットの事例も数件ありました。連絡ノートの確認ミス、利用者さんの飛び出し、送迎ミス等でした。どれもスタッフ間のコミュニケーション不足から起こったものが多く、その後はミーティングの機会を増やしました。送迎時には保護者の方に、困りごとや取り組んでいることなどの聞き取りを行い、気軽に小さなことでも相談していただけるよう努めています。

<わくわく>		令和 3 年	令和 4 年
放課後等デイサービス	利用者数(人)	22	23
	件数 (件)	1,867	1,788
児童発達支援	利用者数(人)	4	1
	件数 (件)	370	231



活動のようす

②放課後等デイサービス・児童発達支援・生活介護（重症心身障がい児者対応）るんるん

（くすくす 定員 5 名、契約者 15 名：児童発達 0 名、放デイ 11 名、生活介護 4 名）

どんなに重い障がいがあっても、毎日活発に笑顔いっぱいの日々を過ごせるよう、個々人にあった支援をしています。

令和 4 年度は、新型コロナの影響を受けた年になりました。事業所を閉めるまでには至りませんでしたが、他事業所で利用ができなくなってしまった、るんるんで預かってもらえますか？等の問い合わせを多くいただきました。お子さんの体調確認はもちろん、当時の指針に沿って、できる限り対応しました。

また、利用児本人の体調の変化や、それに伴う医療的ケアの変更、ご家族の状況の変化で臨機応変の対応をしています。1つ1つは小さな出来事ですが、「生き生きさんに助けていただけて良かったです」というお声をいただくとスタッフも元気になることができます。

生活介護、放課後等デイサービスの将来の見通しについてもお伝えできるようになってきました。重症心身障がい事業所ではありますが、一人ひとりの環境や事情が異なる為、相談支援の方に伺ったり、サービスの内容を調べたり、将来にわたって活用していただける事業所としての在り方を考える機会にもなっています。

利用者さんとの活動で喜ばれるのは、食べ物を作るレクリエーションです。ベビードーナツ、クリスマスケーキ、ポップコーン、チョコレートづくり、プリン作り等の調理を行いました。スタッフの予想以上に喜ぶ反応をいただき、注意の必要なことも多いですが、実施方法を工夫し、楽しく過ごせることを考えました。

令和 4 年度は、児童発達支援のご利用、契約共にありませんでした。相談支援事業所にお願いをしたり、直接事業所に伺わせていただいておりますが、結果を得られていません。引き続き、お声がけいただいた時には積極的に受け入れをしていきたいと思っております。

くるんるん>		令和 3 年	令和 4 年
放課後等デイサービス (就学児 6 歳～18 歳)	利用者数 (人)	10	11
	件数 (件)	742	784
児童発達支援 (未就学児 0 歳～6 歳)	利用者数 (人)	1	0
	件数 (件)	12	0
生活介護 (高校卒業)	利用者数 (人)	4	4
	件数 (件)	241	337



製作がんばってます



水遊び気持ちいいな



生活介護楽しいよ



しかけ絵本面白いね



みんなでダンス



おやつ作り楽しいな

③放課後等デイサービス・児童発達支援・生活介護(重症心身障がい児者対応)にここに

(事務所隣 定員5名、契約者11名：児童発達1名、放デイ9名、生活介護1名)

1日1日を大切に日々、より多くの笑顔が溢れる楽しい時間を過ごせるよう努めています。

令和4年度は、コロナ対策3年目ということもあり、予防をしながらも楽しんで行う活動が多くできました。

五感を刺激する活動では、季節に応じて色々な場所へお散歩に出掛けました。春の花が咲く季節には、ピクニックをしに公園へ行き、バギーから降り芝生の上でのびのびリラックスすることもできました。去年は行けなかった静岡まつりに、人混みを避けて感染に気をつけて行き、お祭り気分を味わえました。

父の日や母の日、長期休暇等には、クッキング体験も行いました。材料をつぶす作業・混ぜる作業など、利用児と一緒に作ったものをお土産としてご家庭に渡すことができました。

夏祭りやクリスマス会などのイベントでは、利用児と一緒に準備から始めて会を作りあげました。クリスマスに作ったオーナメントライトは、利用児が描いた独創的な模様が光に照らされとても綺麗でした。クリスマスプレゼントに家に持って帰っていただきました。また日々の活動の中で、ご家族との連携を密にするよう努めました。帰宅時に最近の様子を伝えあうだけではなく、意見箱を設置してご家族からのご意見をいただくようにしました。意見箱には、にこにこに今後期待すること・新しい建物について等の質問やご意見をいただきました。

2月に実地指導がありました。大きな指摘は無く、無事終わりました。

くすくす隣地の新施設ににこにこが移設することが決まっています。ご家族からのご意見を大切にしたい為、「にこにこ目安箱」を設置しました。いただいた貴重な意見や、様々な方からのご意見を元に進めています。

新施設でもほっとリラックスできるにこにこにしていきたいと思えます。

<にこにこ>		令和3年	令和4年
放課後等デイサービス (就学児6歳～18歳)	利用者数(人)	12	9
	件数(件)	1,037	791
児童発達支援 (未就学児0歳～6歳)	利用者数(人)	2	10
	件数(件)	76	114
生活介護 (高校卒業18歳以上～)	利用者数(人)	1	0
	件数(件)	8	0



オーナメントライト綺麗に
できました



色々な所へお散歩に行きました



新建物
地鎮祭



④児童発達支援(知的障がい児対応)「のびっこハウス」

(喜楽庭 定員 10 名、契約者 15 名)

未就学の知的障がいを持ったお子さんが通所し、遊びや活動を通して丈夫な身体を作り、基本的な生活習慣や社会性を育てています。

昨年に引き続き、子どもも職員も新型コロナに感染したり濃厚接触になるなど、コロナ禍の影響を受け、夏には数日間、休所を余儀なくされました。これにより、学生ボランティアの受け入れをお断りし、喜楽庭施設との日常的な交流もリスクを考え減らさざるを得なく、合同で企画していた季節の行事も、状況によって延期や中止をして現場で臨機応変な対応が求められました。そんな中でもご家族を個別にお呼びして参観や相談援助の機会をもうけ、実施しました。職員会議は数回に分けて少人数で行うなど工夫をしました。おかげさまで卒園式は、喜楽庭のお庭で、親御さんをはじめ、高齢者さんや職員みんなに囲まれ、とても温かい雰囲気の中で行うことができ、子ども達の歌声が響きました。

今年度も親御さん自身が障がいや精神疾患があり、生活や育児の困難さがある為、本来ならご家族がすることも担い、一年を通して市役所、保健所、児童相談所、相談支援事業所などの関係機関と密に連携し、日々細やかな情報共有をしてご家族全体のサポートに努めました。

来年度も子どもが安心安全に過ごし、大きく成長していくように、家庭の背景を捉えながらご家族全体の支援をしていきたいと思えます。

〈のびっこハウス〉	令和 3 年	令和 4 年
利用者数 (人)	15	13
件数 (件)	1,251	1,206



季節を五感で感じながらお散歩を楽しんでいるよ



プール遊び気持ちいね



お別れ遠足・動物園



福笑い、おもしろいね



節分、怖い鬼が登場



喜楽庭のお庭で卒園式

⑤居宅訪問型児童発達支援(重症心身障がい児対応)「のびっこハウス」

(契約者1名)

令和元年5月から24時間人工呼吸器を必要とする外出が困難な重度の障がいのある児童の居宅に訪問しています。

令和4年度のコロナ禍は、4月は感染状況を見てご家族が訪問をお休みしましたが、それ以降は控えることなく訪問ができました。しかし、訪問支援員がコロナに感染しました。感染の前日が本来は訪問日でしたが、ご家族の用事でキャンセルだった為、接触がなく胸をなでおろしました。ただ、訪問支援員が1名なのでしばらくお休みとなってしまう、申し訳なかったです。

利用児さんは入院することなく元気に過ごし、訪問時に大好きなアプリゲームをするのを楽しみにしていました。今まではタッチセンサーが一つでしたが、機械が増え、できることの幅が広がってきました。ご家族と相談しながら、どんなものができるか、どんなことに興味を持つのかを探りながら楽しんできました。好きな活動をすることで、意欲的に指を動かそうとするので更によく動くようになり、「どんなリハビリよりもいいかも。」とご家族がおっしゃっていました。

他にも、父母の日、七夕、クリスマスなどのお話や製作をしながら季節を感じ、ご家族へのプレゼントを一緒に作り、喜んでいただきました。今後も好きな活動を中心にしながら楽しんでできることを探していきたいと思えます。

〈居宅訪問型児童発達支援〉	令和3年	令和4年
利用者数(人)	2	1
件数(件)	36	37



季節の制作



大好きなゲーム



お誕生日おめでとう



ハンドベルを鳴らしてみました

(5) 本事業 (助け合い事業・制度外)

①家事支援・介護全般訪問

(登録者 337 名)

本事業は、生き生きネットワークの前身である“働く母の会”から変わらず、「困った時伺います」の考えの元にある助け合い活動です。家事のお手伝いや、ベビーシッター、一緒に外出に行って欲しい、一緒に片付けをして欲しいなど、さまざまな依頼にお応えします。

令和4年度は引き続き新型コロナの自粛の影響があり、まだ増加傾向ではなくレギュラーの件数は少ない状態でしたが、急な困りごとの依頼や相談は定期的にあります。

昨年の依頼で多かったものは、ベビーシッターでした。そしてお子さんに発達障害などがある為、一人で家に置いておけない、育児が大変で自分が疲れて動けないという話も以前よりとても増えました。

生まれてからずっとベビーシッターで見守ってきた3歳の男の子も、エンジェルハウスを利用されていましたが、途中発達に遅れがあることが分かり、のびっこハウスの児童発達支援に移行されました。お母さんの不安な気持ちにヘルパーも相談にのることもあり、そういった時にどう答えたらいいのか、都度私達も話し合っています。

定期的に依頼のあるウサギのお世話の方も精神的な障がいをお持ちですが、その方なりに一生懸命一人で頑張っているらしいです。些細な困ったことを頼むことができ本当にありがたいと思っています、と言ってくださり、最近は信頼も得られているようでうれしく思います。

これからも色々なことが起こり、その時々で判断をすることがありますが、多角的に柔軟にお応えできるようにがんばります。

<家事支援・介護全般訪問>	令和3年	令和4年
利用者数(人)	102	85
件数(件)	3,006	2,270



コーディネーターです



もう16年支援に入らせていただいています



通院後の買物が楽しみです

②託児ルーム「エンジェルハウス」

(喜楽庭 定員8名)

エンジェルハウスは、短時間からお子様をお預かりする託児ルームです。

コロナ禍の令和4年度は、月決めのお子さんは前年度からの引き続きや、入れ替わりで利用申し込みがあった為、利用人数・件数ともに前年度より大幅に増えています。一時預かりはコロナ禍の関係か利用は少なくなりました。少ない中でも保健センターから相談があり、児童相談所も関わっている方の一時預かりをお願いしたいという依頼がありました。利用人数が多い日でしたが、事務所などにスタッフ応援に入ってもらいお預かりすることができました。年度末からは兄弟関係の行事が増えて一時預かりの依頼も少し増えてきました。

利用のお子さんや、スタッフにも感染者がありました。その都度感染者が分かった後は、ご家族に状況をお伝えして、ご利用を控えていただくこともありました。幸い2次感染で広がることなく過ごすことができて良かったです。人との接触を少なくする為、高齢者さんとの合同行事や、日々の触れ合いも控える日々となりました。その中でも感染者が落ちついている時期や高齢者さんが少ない日、外で少しだけ触れ合う機会を作ることができて良かったです。のびっこハウスの子どもたちとは、小さい子はかわいがってもらったり、大きい子は一緒に手を繋いでお散歩に行ったり、遊びを真似したり関わりを持ちながら、お互いにいい影響を受けて生活をしてきました。

親御さんから子育てに関しての相談も多くありました。家庭的な雰囲気でお預かりできるとともに、親御さんからもなんでも相談できる関係ができ、嬉しく思います。コロナ禍の規制が少なくなってくるので色々な方とふれあいながら、これからもお子さんにとっても親御さんにとっても家族のような関係が築けるようにしていきたいと思えます。

＜エンジェルハウス＞		令和3年	令和4年
利用者数(人)	月決め保育	6	7
	一時預かり	20	15
	計	26	22
件数(件)	月決め保育	497	695
	一時預かり	91	66
	計	588	761



サンタさんからのプレゼント



何洗ってるの?



泡遊びたのしいよ



高齢者さんと音楽レク



のびっこさんとお散歩

③リフォーム部

リフォーム部は、専門的な清掃、修繕等の家庭内の困り事に対応しています。現在はつばさ静岡さんなどの定期清掃を主に不定期清掃も行っています。就労支援にもなっています。

令和4年度は、つばさ静岡清掃現場責任者が変更になりました。フォローアップをする為ベテラン職員が配置され清掃を行いました。清掃をする中で、決められた時間での清掃業務上、やり残しがある場所がわかった為、改善をして以前より良い清掃ができています。

施設に入所の方は重度の障がいを持たれている為、自分たちが感染源にならないように気を付けて日々業務にあたっていました。清掃員2名が新型コロナに感染してしまいました。感染者と接触があった職員は、一時入館ができなくなってしまい、急遽感染者と接触がなかった職員を現場に派遣し、出来る範囲での清掃をさせていただきました。ご迷惑をかけることになってしまいましたが、少しでも清掃に来てくれて助かったと言っていました。今後も感染症には十分注意をして清掃にあたっていきます。

不定期清掃などで、混み合う年末年始の依頼や、夏休みなどの他部署からの応援が難しい時期には、毎年リピートされるお客さんへ連絡をして、時期をずらして清掃させていただきました。

またお客さんのニーズに添った清掃・工事が出来るように、新しい洗剤や道具・材料等について、問屋さんから最新の情報を教えていただき現場に活かしました。

今後も求められたことを実現できるよう、情報をキャッチしながらより良くしていきたいと思えます。

<リフォーム>	令和3年	令和4年
清掃部門 (件)	147	135
工事部門 (件)	10	3



施設・家庭内清掃・年末大掃除
お任せ下さい

つばさ静岡清掃、床の汚れも丁寧に清掃します
定期的にWAX掛けをしています

④みんなの居場所&こども食堂「もぐもぐキッチン」

令和4年度もお弁当販売を中心にしました。お天気に左右されましたが、曜日によっては早い時間に完売してしまうことが増えました。

年間を通してたくさんの方々から食材をいただきました。もち米は何度かお赤飯を作り大好評でした。お野菜やお魚も長きにわたり提供していただいています。安価で提供できるのも皆様のおかげと感謝しています。

毎日のように来店される方も増えました。開店時からのなじみのお客様が高齢のため入所され、お顔を見れなくなりました。優しい笑顔とたくさんのお言葉をいただきました。スタッフ一同淋しさでいっぱいになりましたが、その方の今後の幸せを願っています。

お食事(お弁当)のみではなく一人ひとりに寄り添えるキッチンでありたいと思っています。テイクアウト中心の提供でしたが、来店される方々との会話や笑顔に支えられた1年でした。



テイクアウト弁当販売



日替り弁当



もぐもぐ誕生日会

⑤福祉有償運送

公共交通機関をひとりでは利用しにくく、活き生きネットワークの会員登録と静岡市福祉有償運送会員登録をされた高齢者(介護認定を受けている方)、障がい児・者(手帳保有者)を対象に、必要な場所への移送を行っています。

令和4年度は道路交通法が改正されました。運行前に酒気帯びチェックをするようになり、運転者は必ず事務所で申し送り後、アルコールチェッカーで検査をすることになりました。対面での申し送りになり出発をすることで、運転者の体調確認が出来ることや、運行上の困ったこと等、今まで以上にコミュニケーションをとる機会が増えました。旅客の目的地が多数あり、乗車時間距離が多いケースがあった為、旅客と有償運送の利用の仕方について話し合い、目的地を明確にしていくこととなりました。有償運送での事故は0件で感染症対策をしていた為、旅客も運転者も乗車後の感染者はありませんでした。安全で安心な運行ができたと思います。

有償運送ではないのですが、法人内で送迎時の車両事故がありました。業務上同一車両を使う為、事故時や安全運転の振り返りに有効な、ドライブレコーダーの導入を再度検討して安全意識を高めていきたいです。

<福祉有償運送>	令和3年	令和4年
会員登録者数(人)	41	37
運転協力者数(人)	21	21
車両数(台)	6	6

運送目的別 件数	通院	115	122
	通学	38	41
	その他	179	201
	合計	332	364



申し送り後健康状況確認、アルコールチェックをして出発です。



余暇活動楽しみにしています。



施設から有償運送を利用して通院です。



ヘルパーさんとのランチ楽しみです。

(6) 委託事業

①静岡市緊急サポートセンター事業（静岡市子ども未来局子ども未来課）

病気のお子さんの預け先がなくて仕事を休めない時や、急な残業で保育園のお迎えや、その後のお世話ができない時など、働く親御さんの困りごとをサポートします。支援するまかせて会員の養成、まかせて会員をコーディネートして自宅に伺います。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響より、交流会は開催できませんでしたが、出張登録会・支援スタッフ研修会は、登録希望者の事前予約や、感染対策をとることで開催することができました。

病児預かりの依頼数は119件で、昨年よりも減少しました。しかし、利用を希望するおねがい会員さんの新規登録者数は昨年より増えており、仕事を持つ親御さんにとって安心して子供を預け、仕事に行けると感じていただける大切な事業だと痛感しました。

また、働き方自体も変わってきており、在宅勤務をされる方が増え、サポート時にご家族が在宅されているケースも増えています。家族が病気で、特に発熱を伴うような病気の時は、仕事を休んでほしいという職場が多いようです。感染拡大を防ぐことが目的ですが、実際には、金銭的に余裕がないと仕事も休めませんし、サポート利用料の支払いも長時間利用になれば高額になるので、利用できる方が限られてしまうのはコロナ前から変わっていないと思われまます。それでも病児の保育を自分たちではできないので、緊急サポートセンターを利用したいと考え、実際に利用してもらっていることから、今後もこの事業の必要性はあると強く感じています。

出張登録会を2月に駿河区、3月に葵区にて開催し、計25組が登録しました。市内の幼稚園、こども園などにチラシを配布し、特に入園を機に就労を始める方に向けてこの事業を知ってもらうため、在園時のみではなく4月以降に新入園するご家庭にも配布していただきたいと各園に依頼をしました。

支援スタッフ研修会は、第1回目を6月～7月、第2回目を10月～11月に開催しました。緊急サポート会員（おねがい会員・まかせて会員の両会員）、市内の図書館、児童館、子育て支援センター、地域の金融機関等へチラシを配布し、参加者の募集を行いました。1回目は計113名、2回目は計117名が参加しました。小児看護や子どもの発達、感染症対策など、病児保育に必要な情報や子育てにも役立つ講義で、新規まかせて会員の獲得にもつながりました。

<緊急サポートセンター>	令和3年	令和4年
おねがい会員（人）	1,530	1,498
まかせて会員（人）	197	200
計（人）	1,727	1,698
サポート実件数（人）	170	119



支援スタッフ研修会



出張登録会の様子

②静岡市清水病児・病後児保育室「虹いろ」(静岡市子ども未来局こども園課)

定員 3 名(緊急時 4 名迄)

静岡市から委託を受け、清水区天神にて運営しています。お子さんが病中または病後であり、保護者が就労等の理由で保育が必要になった場合に、お子さんをお預かりして必要な看護や保育を行っています。

新型コロナウイルス感染症の流行に加え、6月から9月までは手足口病、8月から1月まではRSウイルス感染症、秋から2月まではウイルス性胃腸炎と、令和4年度は様々なウイルスによる流行が長く続きました。更に3年ぶりにインフルエンザ疾患による利用もありました。

そのような中で、3年ぶりに利用となった7歳のお子さんは、虹いろに来ることが楽しみだったと言い、お母様からは実家に帰ってきたような気持ちになると言っていました。また「会えなかった間の子も達の成長を見てください」と3年分の家族写真をまとめてくださいました。このように利用者の方々から嬉しい声をいただく度に、スタッフ間でもそれらを共有するようにしています。そうすることで職場の雰囲気明るくなり、また仕事に対してのやりがいに繋がっています。

利用状況は令和3年度とほぼ変わらず、コロナ禍前の状況に比べ件数が戻ってきたものの、利用人数が減少しています。その反面、年間利用人数における新規利用者の割合はコロナ禍前に比べると1.4倍から2倍に増えています。利用人数の減少については、要因としてコロナ禍において病児保育室を必要とする家庭が限られていたことや、新型コロナウイルス感染予防のために他児との同室保育を制限したことが考えられます。今後新型コロナウイルスの感染状況を見ながら同室保育を再開することで、利用人数も増加すると考えています。

<虹いろ>	令和3年	令和4年
利用者(人)	76	75
件数(件)	341	328



利用者様からのお便り、励みになります



トラックに何乗せる？



足を骨折しています



ぐっすりお昼寝中・・・



手作りカードの製作



大きなお家が完成！

2. 人材育成・能力向上支援

①いきいき研修会

いきいき研修会は、月1回スタッフを対象として業務に関わる知識・技術・取り巻く環境の変化等について学ぶ内部研修会です。1年間、コロナ禍で休止していましたが、11月から再開し5回開催しました。研修内容に応じて在宅リモート参加もできるようになり、組織で学びを分かち合い、みんなで成長する研修会として再開しました。

*11月25日 虐待グレーゾーンと不適切ケアの防止（古井慶治さん、参加44名）

- ・令和4年度より施設運営基準が改正され、虐待・拘束等の適正化に関わる指針の整備と研修の実施が義務化されました。そこで、不適切なケアにより知らず知らずのうちに虐待グレーゾーンとなってしまうケア例を紹介いただき、虐待防止のチェックポイントと対策方法について学びました。

<受講後のレポートより>

虐待行為の種類は多様で、受け手の感じ方によってグレーゾーンとなり、アンテナを高くして注意深く観察し合うようチェックリストを活かしていきます

*12月16日 今伝えたいこと（代表理事・各部門、アイセル、参加51名）

- ・代表理事より、土地取得と新建物建設の意図等について示して頂き、職員ひとり一人が「やりたいこと」を書き出しながら情報共有しました。

<受講後のレポートより>

コロナ禍で利用者さん（子ども・高齢者さん・障がい者さん）が一つの場所でふれあうことができなくなりました。広いお部屋やお庭で子供達が遊んでいるそばで、高齢者さんがひなたぼっこや編み物したり・・・何気ない家族的な場所が提供できたらいいなと思いました。地域の人たちが笑顔で立ち寄りたいたらいいな。

*1月27日 今伝えたいことパート2（代表理事・各部門、アイセル、参加49名）

- ・令和5年度は発足40周年・NPO法人認証25周年を迎えるにあたって、発足時から続く思い、大切にしている心構え、さまざま変化にご縁とご支援でのあゆみ（歴史）を伝えていただきました。そして、参加者より「いま想うこと」のテーマで自身の抱負や目標を述べ合いました。職員同士の気持ちや状態を知る機会となりました。

<受講後のレポートより>

日常の中では自分の足元しか見えなくなってくる中、こういう機会を頂き気持ちを新たにすることは、自分にとっては必要なことだと感じています。大きなプロジェクトに向けて生き生きネットワークが進む中、自分なりにできることを少しでも力になれるよう探していきたいと強く思いました。

*2月24日 障がい児支援において大切にしていること（谷脇葉子さん、アイセル、48名）

- ・聴覚障害の特別支援学校等の経験から大切にしてきたことをお話いただきました。障がいを持つ児童や親御さん誰もが潜在的に持つ気持ち、仲間との共通理解をすること、得意分野を活かしてみんなで育てる等、教育従事者の事例等について情熱的に話してくださいました。「一人ひとりの違いを大事にする心得」を披露してくださいました。

<受講後のレポートより>「大切にしている心得」を手帳に書き写して支援に活かしたいと思います。「人は一人ひとり個性があり、能力にも差がある。そのことを受け入れたものでなければ、障がいを持つ利用者の支援者としては失格である」この言葉を意識して日々活かしていきたいと思います。

*3月17日 ケアする人の健康ストレッチ体操(田井中正志さん、アイセル、31名)

- ・コロナ禍で、各部門が日々緊張感をもって連携・協力しながらなんとか乗り切っている状況が続いています。ケア業務の合間に手軽に行える体ほぐし・ストレッチ体操を体験しました。肩こり、腰等の部位別に効果を感じる笑顔となる楽しい研修でした。



11/25 虐待グレーゾーンと不適切ケアの防止



1/27 今伝えたいこと(代表理事、参加49名)



1/24 障がい児支援において大切にしていること



3/17 ケアする人の健康ストレッチ体操

②いきいき介護職員初任者研修(介護職員初任者研修)

福祉分野の担い手発掘、人材育成・能力向上支援施策として、介護職員初任者研修を開講しました。10月1日から事前自宅学習(38時間30分)、1月11日から通学学習(アイセル・喜楽庭、91時間30分)を開講しました。コロナ第8派の影響から会場を急遽、生き生き研修室からアイセルと喜楽庭に変更しました。受講生は、福祉系大学試験を控える高校生、転職希望者、介護施設に内定している大学生など10名でした。みなさん、初任者研修資格を新年度までに取得したい方たちで、質問や発言など活発で意欲的な雰囲気クラスとなりました。学校・仕事と研修の両立に苦労される方や、体調不良やメンタル低調となったり、随時、リモート授業や補講等の調整を行いました。講師は、生き生きネットワークのスタッフ11名、理事・評議員さん4名等がそれぞれの分野を担当していただきました。15名の講師がテキストに沿いながらも、自身の経験談、介護職への思いや失敗談なども話していただきました。

3月8日に笑顔で修了式を迎え、現在、福祉介護現場等で活躍されています。



1/11~3/8 通学講習



3/8 閉講式

③資格取得・外部研修の支援

職員が介護等の実践的な知識と技術を習得し、現場の実務に活かすことができるよう団体として支援を行っています。職員の申し出等により、資格取得支援、外部研修参加の奨励・支援をしました。

<資格取得者>(8名)

介護職員初任者研修(2名) 介護支援専門員更新研修(1名)
児童発達支援管理責任者実践研修(2名) 同行援護従業者養成研修課程(1名)
甲種防火管理新規講習者(1名) サービス管理責任者基礎研修(1名)

これにより、在籍職員 110 名(正規 33 名)の内、介護職員初任者研修 76 名、介護福祉士 24 名、保育士 19 名、実務者研修 5 名、幼稚園教諭 7 名、ケアマネジャー 3 名、社会福祉士 1 名他が福祉関連の資格保持者となりました。

<外部研修(対面研修・Web研修・書面研修)>

静岡市認定調査員フォローアップ研修(ケアマネ) 入院外医療における摂食嚥下障害研修(ケアマネ)
地域共生社会の実現に向けて(ケアマネ) シズケアかけはし普及促進研修会(ケアマネ)
城東圏域ケアマネ勉強会 城東城西地域事例研究ネットワーク(ケアマネ)
医療的ケア児等コーディネーター多職種連携(訪看) 在宅高齢者の褥瘡・栄養管理対策(訪看)
摂食・嚥下とポジショニングセミナー(訪看) 看護師の為の緩和ケア研修会
訪問看護管理者研修(訪看) 静岡難病ケア市民ネットワーク難病懇話会(訪看)
静岡市難病ケアネット懇話会(訪看、のびっこ) 静岡市番町市民活動センター研修会(事務局)
静岡県ボランティア協会講演会(事務局) 静岡県男女共同参画講演会(事務局)
食品衛生管理者講習会(もぐもぐ) 高次脳機能障がい研修会(居宅介護)
処遇改善加算について研修(成人部) 重症心身障害児者対応多職種連携研修(にこにこ)
子ども虐待防止に向けた講習(にこにこ) 「脱水・熱中症について」勉強会(にこにこ)
「てんかん発作について」勉強会(にこにこ) 「窒息について」勉強会(にこにこ)
児童福祉におけるスキルアップ研修会(にこにこ) 静岡県児童発達子どもフォーラム(るんるん)
重心障害児者対応支援従事者養成研修(るんるん)
障がい児等療育支援事業職員研修会(のびっこ) 放課後等デイサービス専門研修会(わくわく)
障害者虐待防止・権利擁護研修(のびっこ) 静岡市発達障害者支援センター研修(のびっこ)
「災害時の要配慮者支援について学ぶ」勉強会(のびっこ)
ペアルメントナー・地域サポーター養成研修(のびっこ) 安全運転管理者講習会(有償運送)

④外部の委員会等への参加、講師派遣

NPO・福祉関連団体等が主催する協議会・連絡会のメンバー会員として参画し、各分野の関連機関の方々等との情報交換、意見交換に参画しています。令和4年度は、会議・研修会は、延期・中止もありましたが、一部リモート等で参加しました。

<外部委員会、協議会メンバー(Zoom・書面参加等)>

静岡市放課後等デイサービス連絡協議会 静岡市児童発達支援事業所連絡会
地域ケア会議(ケアマネ) 「自宅ですっと」ミーティング(ケアマネ)
静岡市社会福祉協議会ボランティア養成講座講師(ケアマネ)
安東小4年総合学習「寄り添う人が大切にしていること」講師(ケアマネ・いきいき劇団)
静岡県立大学「静岡のNPO市民活動」講師(事務局)
SSC(ShizuokaSDGs Community)情報交換会 安東地区福祉推進協議会

静岡市障害者自立支援協議会こども部会
 静岡市障害者協会
 静岡市番町市民活動センター入居団体審査会
 静岡市番町市民活動センター運営委員会
 静岡県肢体不自由児協会理事(理事)
 福祉移動サービスネット静岡(監事)

静岡市社会福祉協議会評議員会
 静岡県訪問看護ステーション協議会(訪看)
 静岡信用金庫総代会
 (学法)国際ことば学院(監事)
 しずおか男女共同参画推進(専門部会)
 (特非)静岡県ボランティア協会理事会(理事)



11/10 安東小4年総合学習「寄り添う人が大切にしていること」(ケマネ・いきいき劇団、126名)

⑤ ボランティア体験・実習生、見学の受け入れ対応

令和2年度より小中高・大学等の夏季休暇期間を利用したボランティア・福祉体験の受け入れは中止していましたが、令和4年度は、静岡県ボランティア協会さんとの連携で、サマーショートボランティアの受け入れを行いました。当初25名の参加申し込みがありオリエンテーションをしましたが、コロナ感染拡大により8名の受け入れ(エンジェル・わくわく)をしたところで中止となりました。夏休み福祉体験、シニアサポーター等の受け入れは休止となりました。学校から要請があった実習生・ボランティアの受け入れを学校と連携して行いました(常葉大学保育実習生受け入れ、静岡高校定時制ボランティア受け入れ)

視察・見学は、予約を頂き少人数の方の受け入れを行いました。



サマーボランティア



5/23~6/3 常葉大保育実習生受け入



2/1 難波喬司さん視察対応

3. 理事会・総会、安全衛生委員会等

① 総会・理事会

総会は、議決権を持つ正会員(理事・監事、評議員)出席により、定款に定められる事項の議決を行っています。通常総会は事業報告及び活動決算報告(毎年6月)、予算総会は、事業計画及び活動予算・補正予算等(毎年3月)理事会は、理事及び評議員出席により毎月定例開催。

- ・奇数月は、理事・評議員全員による報告事項・審議事項(土曜 10 時)、偶数月は、理事・評議員(外部の方)による審議事項・情報交換(木曜 18 時 30 分～)
- ・令和 4 年度は 12 回開催しました。

4 月 21 日(木) 理事会(喜楽庭、18:30~20:00、15 名)

- 報告事項 ・活動概況報告(2/25~4/20)
 - ・静岡市 SDGs 宣言事業所連絡会(SSC)加盟発足式
- 協議事項 ・新物件情報について

代表理事より、安東地区の複数の土地物件の説明をし、その中で、くすくす隣地の活用方法と資金確保、次世代へのビジョン等について意見交換しました。今後、継続案件として理事会にて審議を進めることとなりました。

5 月 28 日(土) 理事会(アテル 10:00~11:00 25 名)

- 報告事項 ・部門別活動報告(4/21~5/27)
- 協議事項 ・令和 4 年度重点施策の進捗状況について

令和 4 年度重点施策の 8 項目の取り組み状況について報告しました。令和 5 年度には、NPO 設立 25 周年、喜楽庭借入金完済の節目となります。現在、コロナによる影響で活動制限されている時だからこそ、これからの時代に向けた施策の狙い等について説明し、優先度を設けて取り組みを進めることを確認しました。

6 月 28 日(土) (ペガサート6階 10:00~11:00 33 名)

- 理事会にて審議可決後、通常総会にて承認・決議しました(11:00~12:00)。
 - ・第 1 号議案 「令和 4 年度事業計画案」承認の件
 - ・第 2 号議案 「令和 3 年度補正予算案」承認の件
 - ・第 3 号議案 「令和 4 年度当初予算案」承認の件

議案の内容について代表理事・担当より説明し、質疑応答の後、議長が議場に諮り承認されました。



6/28 理事会・通常総会(ペガサート 33 名)

7 月 30 日(土) 理事会(アテル 10:00~11:00 21 名)

- 報告事項 ・部門別活動報告((5/28~7/29)
- 協議事項 ・新規事業「就労継続支援 B 型」の取り組みについて

就労継続支援 B 型事業の指定基準等について説明し、質疑応答・協議しました。就職が難しい障がい・難病等の方の就労と居場所を提供するもので、生き生きネットワークの活動を活かせる事業であるという意見等が寄せられました。引き続き、事業所申請の情報を収集し、継続案件として報告することとなりました。

8 月 31 日(水) 理事会(喜楽庭 19 名)

- 報告事項 ・新型コロナウイルス感染症対応状況
- 協議事項 ・令和 4 年度アクティブシニア介護分野参入促進事業の公募の内容について説明、昨年度の内容を見直し企画内容については代表理事に一任、公募の結果について次回理事会で報告することとなりました。

9 月 17 日(土) 理事会(アテル 22 名)

- 報告事項 ・活動状況報告(7/30~9/16)
- 協議事項 ・就労継続支援 B 型事業取り組みについて

「就労継続支援 B 型」事業所申請の内容について説明し協議しました。利用者さんの要望もあり、生活介護との多機能型(定員 10 名)、作業はもぐもぐキッチン連携で検討等について説明し、申請の準備を進めることとなりました。

10月27日(土) 理事会(喜楽庭 16名)

- 報告事項 ・台風15号による被害報告
・エンジェルハウス立ち入り調査

- 協議事項 ・(公財)日本財団助成事業の申請参加の検討

日本財団助成のプログラム「通常募集、未来の福祉施設建設プロジェクト」の概要について説明し、申請参加の方向性について協議しました。継続的に情報を収集し、申請の検討を続けることとなりました。

12月1日(木) 理事会(アレル 26名) ※11月26日を延期して

- 報告事項 ・活動状況報告(9/17~11/30)
- 協議事項 ・就労継続支援B型「きらきら」運営規定
・くすくす隣地購入の件

代表理事・担当より、土地取得の内容と新施設建設の構想について説明しました。質疑応答の後、出席者全員から土地取得でやりたいこと・志望について述べました。その後、くすくす隣地購入の賛否を尋ねたところ賛成多数となりました。継続案件として引き続き、土地売買契約、新建物建設計画、資金調達方法等について審議を進めることとなりました。

12月22日(木) 理事会(喜楽庭 17名)

- 協議事項 ・くすくす隣地取得の件

くすくす隣地取得の契約概要・資金調達等について代表理事・担当より説明し、質疑応答のあと、くすくす隣地取得について議長が諮り賛成多数で承認されました。

1月21日(土) 理事会(アレル 24名)

- 報告事項 ・活動状況報告(12/1~1/20)
・令和5年行事。研修・会議スケジュール
- 協議事項 ・くすくす隣地取得の件
・現物資産(土地・家屋)寄贈の件

くすくす隣地の土地取得契約内容・建設計画の概要について議長が諮り、賛成多数で承認されました。

また、現物資産(土地・家屋)寄贈申し入れの内容について説明し、議長が諮り質疑応答の後、賛成多数で異議なく承認されました。

2月16日(木) 理事会(アレル 13名)

- 報告事項 ・活動状況報告
・新型コロナウイルス感染症対策状況について
- 協議事項 ・くすくす隣地新施設の基本設計について
・発足40周年・NPO認証25周年記念式典

3月25日(土) 理事会・予算総会(B-nest 26名)

- 理事会にて審議可決後、予算総会に付議・決議しました

- ・第1号議案「令和5年度事業計画案」承認の件
- ・第2号議案「令和4年度補正予算案」承認の件
- ・第3号議案「令和5年度当初予算案」承認の件

第1号議案~第3号議案の内容について代表理事・

担当より説明し質疑応答の後、議長が議場に諮り承認されました。



12/1 理事会(アレル 26名)



3/25 理事会・予算総会(B-nest 26名)

②安全衛生委員会

安全衛生委員会は、労働安全衛生法に基づき職員の安全と健康の課題や要因等について情報を共有し、快適で安全な職場環境に改善を進める委員会です。

*令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対応をテーマに継続的に進めました。職員の健康状況（職場巡回、健康チェック等）、ヒヤリハット報告と再発予防、職場環境補修、健康診断結果等の案件を持ち寄り12回開催しました。コロナ陽性者・濃厚接触者発生の情報を得たら、委員長・産業医等と速やかに意見交換し、感染の拡がりを抑えるよう進めてきました。職員のコロナ陽性者は29名。事故報告2件、苦情報告3件、ヒヤリハット報9件。

*4月18日（月） 8名

- ・職員の健康状況（入院手術予定者2名 他）
- ・コロナ感染症の濃厚接触者の取り扱い（静岡県通達）
- ・コロナ濃厚接触者の対応（のびっこ、わくわく、生活介護）
- ・自衛避難訓練（ケア業務中の地震発生を想定した安全確保訓練等）
- ・ヒヤリハット報告1件（わくわく）

*5月2日（月） 9名

- ・職員の健康状況（入院手術予定者2名、自宅療養後復帰 他）
- ・異動職員の勤務状況について
- ・抗原検査キット報告義務の変更について
- ・ヒヤリハット報告1件（喜楽庭）

*6月6日（月） 10名

- ・職員の健康状況（体調不良2名、入院手術予定、入院治療後復帰 他）
- ・コロナ濃厚接触者の対応（わくわく）
- ・夏風邪症状の職員に対しての抗原検査・自宅待機の通達
- ・くすくす職員室鍵取り付け工事
- ・苦情2件（のびっこ、支援事業部）、ヒヤリハット1件（支援事業部）

*7月11日（月） 9名

- ・職員の健康状況（検査入院者の診断結果と療養 他）
- ・職場の人員確保（上記に係る）
- ・コロナ陽性者（8名）
- ・苦情1件（訪問介護）、ヒヤリハット2件（訪問介護、にこにこ）

*8月8日（月） 7名

- ・職員の健康状況（メンタル低調で休養、带状疱疹治療2名 他）
- ・コロナ陽性者（4名）の状況
- ・新規事業所申請（就労継続支援B型）に係る検討

*9月12日（月） 7名

- ・職員の健康状況（体調不良2名 他）
- ・中途採用職員の試用期間状況
- ・ヒヤリハット1件（るんるん）

*10月17日（月） 8名

- ・職員の健康状況（9月報告者の経過観察 他）
- ・中途採用職員（試用期間）の状況

- ・台風 15 号による停電・雨漏り対応(発電機の補充、喜楽庭の補修工事)
- ・健康診断予定・インフルエンザ予防接種の予定
- ・コロナ陽性者 (1 名) の状況
- ・ヒヤリハット 2 件 (わくわく)

* 11 月 14 日 (月) 8 名

- ・職員の健康状況(口腔内治療、手術後復帰状況 他)
- ・自衛避難訓練(施設滞在避難を想定:備蓄品・発電機・新簡テント訓練等)
- ・抗原検査キット定期検査(静岡県通達、6 部門 31 名実施)
- ・定期健康診断・インフルエンザ検査進捗状況
- ・コロナ陽性者 (1 名) の状況

* 12 月 12 日 (月) 9 名

- ・職員の健康状況(メンタル低調者の転院、職場復帰職員の経過 他)
- ・コロナ陽性者(5 名) 状況
- ・年末年始の利用対応について
- ・ヒヤリハット 1 件(のびっこ)

* 1 月 16 日 (月) 8 名

- ・職員の健康状況(手術復帰後に肺炎罹患 他)
- ・新型コロナ濃厚接触者の対応方針(県立中央特支通達他)について
- ・コロナ陽性者(3 名) 状況、
- ・感染職員の後遺症の状況

* 2 月 20 日 (月) 8 名

- ・職員の健康状況(手術後自宅療養職員の経過)
- ・新型コロナ濃厚接触者となった職員の対応(3 名)
- ・こども園・学校休校時の緊急サポコーディネートについて
- ・コロナ陽性者(3 名) 状況
- ・事故報告 2 件(生活介護、わくわく)

* 3 月 13 日 (月) 8 名

- ・職員の健康状況(手術後自宅療養職員の経過)
- ・3/未退職に伴う人員配置について
- ・5 分類移行後の感染対策(手洗い、うがい、マスク着用、換気、健康観察を継続)。
- ・マスク着用の考え方の見直し(厚労省通達)
- ・コロナ陽性者(1 名) 状況

③連絡調整会議

*連絡調整会議は、各部門 (18 部門)の連絡報告、相談事項情報を持ち寄り、情報交換・意見交換により、部門間の連携・協力がスムーズに行えるように進めています。月 1 回年 12 回開催しました。

*事務局会議を随時開催し、全員で運営対策等について情報共有を図りました。

4. 主催行事、情報発信活動、SDGs 参加

①交流行事の主催

*令和4年度も恒例のクリスマス会、交流運動会、研修旅行、寄り合い日等のイベント開催は自粛して中止としました。

*フリーマーケットは、催事ガイドライン(静岡県)に添って2回行いました。駐車場でコンパクトな開催でしたが、ご近所さん会員さん等が来場いただきました。他の交流催事が休止のなか、フリーマーケットを楽しみにしている方も多く、開場前から並ぶ方も多かったです。お子さん連れや高齢者さんもみなさんも笑顔で楽しくふれあうことができました。ボランティアさんによる運営の協力、たくさんの物品の提供等のご支援に感謝いたします。

*各部門では、季節行事や誕生会等、創意工夫をしながら楽しむことができました。



4/23 フリーマーケット



11/5 フリーマーケット



②自衛消防活動

甲種防火管理者8名による施設ごとの自衛消防隊が編成され、各施設ごとのコロナ禍での避難訓練・安全確保等をの訓練を所轄消防署に届け出し実施しました。

コロナ禍での自衛消防避難訓練を施設ごとに2回(毎月実施部門もあり)行いました。災害発生時に避難する際、安全確保・感染防止を想定した訓練を行いました。4月は、ケア支援中に地震が発生した想定での安全確保する訓練、11月は、施設・避難所での一時滞在避難を想定した訓練(備蓄品・発電機・防災テント設営)でした。

また、停電・断水時の必要な備蓄品の補充をしました(ソーラー発電機、簡易テント、水・食料・毛布等)。いつ起こるか分からない自然災害(地震・台風・豪雨等)を想定した訓練と対応を続けていきます。



4/18 くすくす自衛避難訓練



発電機操作訓練



11/1 喜楽庭自衛避難訓練



③情報発信・広報活動

会員の皆様・ご支援いただいているお仲間等に活動の様子や予定等をお伝えし、活き生きネットワークの活動をより身近に感じていただくよう、定期的に発信しています。

*ほっと通信 No120~124 の5号発行(4/10、6/10、8/30、10/25、1/25)

*緊急サポート機関誌「かけつけ TAI」を発行しました(9/30)

*ホームページを「日々の出来事」ブログによる日々の様子を発信(ブログ更新15回)

＊SDGs 宣言事業所活動

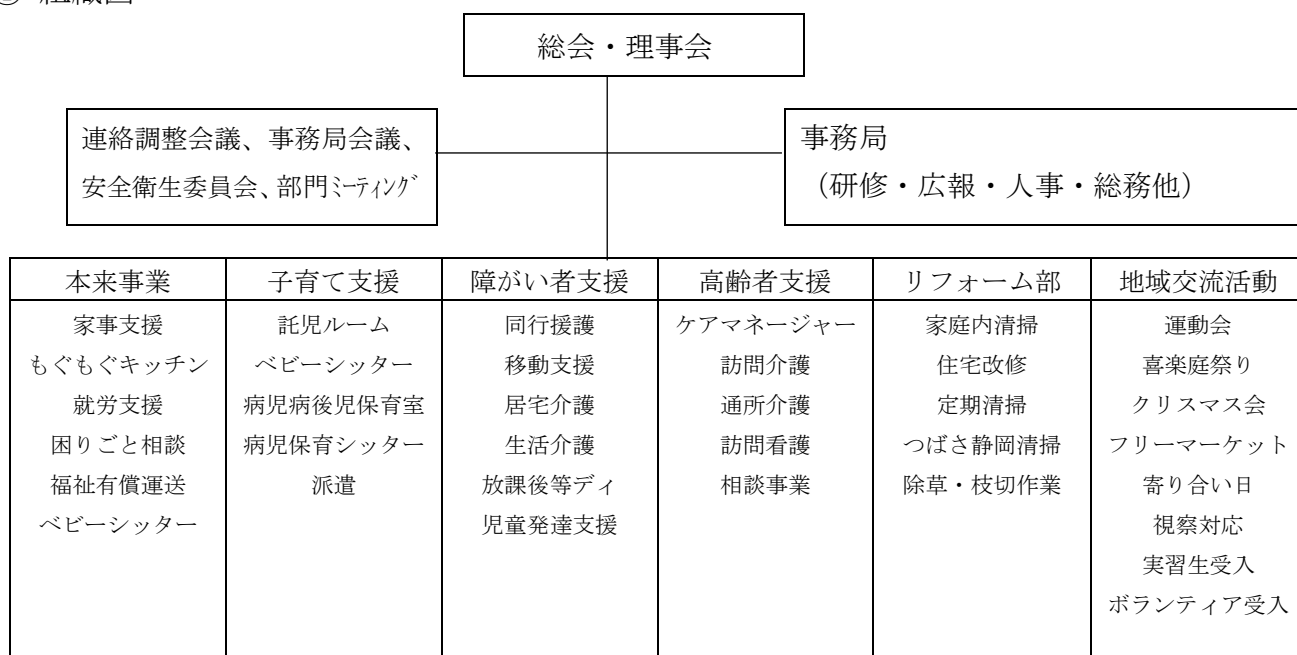
活き生きネットワークの活動そのものが、SDGs が掲げる「誰も置き去りにしない社会」づくりのビジョンと適合しているということで、令和3年に静岡市SDGs 宣言事業所に登録となりました。静岡信用金庫さんの Shizuoka SDGs Community(SSC)の発足に参加し、SDGs 宣言事業所の情報交換・意見交換等によりSDGs の普及活動等に協力しています。宣言分野は5分野・・・

- ・3 すべての人に健康と福祉を
- ・5 ジェンダー平等を実現しよう
- ・11 住み続けられる街づくりを
- ・2 飢餓をゼロに
- ・17 パートナリシップで目標を達成しよう



5 会員数・利用者数

① 組織図



② 会員数・寄付者

(人)		令和2年	令和3年	令和4年
会員	正会員	54	52	52
	ドリーム会員	385	363	333
	ワーカー会員	123	125	123
	計	562	540	507
寄付者		215	110	255